

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス
インキュベーション委員長 上山隆大



この度、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスインキュベーション委員長を拝命致しました上山隆大（うえやまたかひろ）です。

1990年の開設以来、SFCでは、社会の様々な問題を解決し未来を先導し創造する人材を育成すべく、従来の大学に無い先進的な取り組みに挑戦して参りました。数多くの起業家・社会起業家を輩出してきたことは、SFCの大きな特徴であり、成果であると自負しております。

大学を取り巻く環境を見渡しますと、国立大学の法人化から10年となりますが、この間、大学に対する社会の価値観は多様に変化しています。教育・研究に没頭し続ける古典的な大学像、社会貢献の名の下に、権利化した研究成果を積極的に市場に投入する大学像など、単純な二元論では到底把握も理解もできません。また、大学内に於いても、学問領域を超えた連携を行っていかねば、新たな知の創造という本来の役割も果たせないこととなります。

このような状況下、今後ますます重要になってくるのが外部との連携、密接なコミュニケーションであると言えます。2006年3月のオープン以来、慶應藤沢イノベーションビレッジでは、中小機構、神奈川県、藤沢市をはじめ、多数の外部協力者の有機的な支援を得ております。また、外部支援者との連携によるセミナーや勉強会、成果発表会、交流会の開催等、組織にとらわれず、垣根を超えた柔軟なネットワークが形成されています。これは大きな財産であり、ここから多種多様なご意見やご助言を得ることで、施設自体が「革新的な変化を遂げて新事業の創造を果たす地域の拠点」としての期待に応えていきたいと考えております。

関係機関の皆様のご理解、ご協力のもと、インキュベーターとしても新たな試みに挑戦し続け、大学連携型起業家支援施設としてより一層ダイナミックに社会に貢献できるよう努力して参りますので、引き続きのご支援をお願い致します。

ベンチャー界で活躍している起業家にきく 人材と資金

11月22日

パネルディスカッション テーマ「起業にまつわる『ヒト』と『カネ』のお話」
SFC-IV Entrepreneurship Seminar (SES) 13

東京ミッドタウン・カンファレンス (4階)
SFC Open Research Forum room3+4



については、「先が見えないスタートアップの段階で、どのようにして“優秀”な人材を確保したのか」、「SFCは、特にITスタートアップの業界では人材の宝庫と評価されているがそれは本当か」、「優秀な人材の定義、何が有るから宝庫なのか、また足りないものは何か」等の点から、また、『カネ』については、『ヒト』と同様、「どのようにして必要な資金をかき集めたのか」、「潤沢でない資金をどのように効率的に運用・投資したのか」、「意思決定のポイントはどのような基準であったか」等、これらのトピックについて、パネリストの皆様から起業家、投資家、経営者の立場でご発言頂きました。ご意見としては、「起業を志すならば、まず勢いのあるベンチャーで修行するのが良い」「カネもヒトも、良いプランには自然に集まってくる。但し、創業メンバーの熱量と後から参加したメンバーのそれは異なるということ

パネリスト

穂田誉輝氏 クックパッド株式会社代表執行役
千葉功太郎氏 株式会社コロプラ取締役副社長
伊藤寛之氏 株式会社ユヒーロ代表取締役
具志林太郎氏 カルー株式会社代表取締役

を忘れてはならない。」等があげられました。学生、社会人など来場者は70名を超え、起業を志す方も多数参加されました。また、創業者の経験談が直に聞ける貴重な機会ということで、活発な質問が続きました。



SESは、SFC-IVが年に2回開催する大型セミナーで、毎回著名な起業家や有識者を多数お招きし、最新のトピックスの提供や多くの関係者の方々との議論を行う場です。今回は、SFC Open Research Forum 2013の会場にて、オープンセッションとして開催しました。パネリストとしてコロプラの千葉氏、SFC-IVの入居企業の起業家、ユヒーロの伊藤氏とカルーの具志氏、また、クックパッド代表執行役で投資家でもある穂田氏をお迎えし、ベンチャー企業の立ち上げに必要なリソースのうち、『ヒト』と『カネ』をとりあげて議論しました。まず『ヒト』

新入居者紹介

1階シェアードオフィスに SFC フォーラムが入居しました

財団法人 SFC フォーラム

[団体概要]

1990年のキャンパス開設と同時に任意団体として設立。法人会員向けのセミナー事業を中心に、企業経営者とSFC教職員が、新たな知の再編成と創造を目指すためのコミュニケーションの場として活動。2012年4月、ガバナンス強化と活動の活性化のため財団法人化。主たる事業は、(1)講演・研究発表事業、(2)教育・研究支援事業、(3)新事業創造支援事業など。

SFC 研究成果活用支援

SFC-IVにおいては、これまで学生起業家や若い卒業生を主な対象としたプレインキュベーション活動を行ってきたSFC研究所KIEPコンソーシアムの後を引き継ぎ、今後も、SFCとの連携を円滑に行う機能果たし、関係性をさらに維持発展するため活動します。具体的には、1)学生起業家向け共同作業スペースの提供、2)KIEPおよびメンター三田会との連携によるソフト支援の提供、3)入居企業に対するSFCフォーラムがもつ大企業ネットワークとのマッチング機会の提供、4)SFCが主催する各種セミナー等への参加機会提供、5)入居者とSFCの研究者とのマッチング等です。

代表理事 花田 光世 総合政策学部教授
事務局
〒252-0882 神奈川県藤沢市遠藤 5322
慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス エプシロン 508
TEL : 0466-49-5271 FAX : 0466-49-5272
E-mail: sfc-forum@sfc.keio.ac.jp
URL: http://sfc-forum.sfc.keio.ac.jp/



1階シェアードオフィス

支援専門員 ご紹介

慶應義塾大学の産学官連携コーディネータに石渡昭好氏が着任しました。

[自己紹介]

私は11月1日付で慶應義塾大学の研究支援センターに入り、SFC-IVの支援と産学官連携コーディネータをすることになりました。前職では、産業アナリストとして世界の通信ネットワークとその上のサービスの技術動向を調査分析する仕事をしていました。また、その間、中小企業診断士の資格とITコーディネータの資格も取得しました。微力ではありますが、今までの経験を活かし、イノベーションビレッジの皆さんを支援したいと思います。何かありましたらご相談頂ければと思います。よろしくお願ひ致します。



慶應義塾大学研究連携推進本部/湘南藤沢研究支援センター
産学官連携コーディネーター/中小企業診断士 石渡昭好

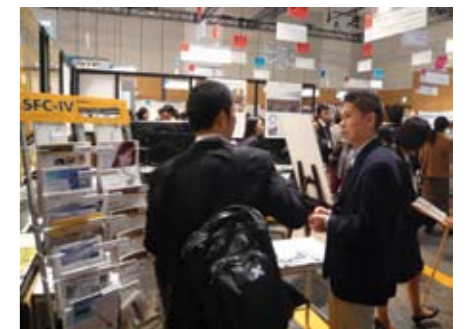
[略歴]・調査会社、インダストリーアナリストとして通信市場分析に従事；通信ネットワークのネットワーク装置と通信サービスプラットフォームの調査分析、ネットワークサービスの調査分析/・欧州通信ベンダ；通信事業者向け携帯サービスシステムのアカウントマネージャに従事、携帯サービスのサービスシステムのマーケティング/・計測器メーカー；NTT/KDDの研究所およびNICTへの専任セールスエンジニアとして、通信計測システムおよびネットワーク監視ツールの販売とサポートに従事
[資格]・中小企業診断士；ボランティアで中小企業を、年に1-2社、経営診断
・ITコーディネータ；ITコーディネータ協会のデータ連携委員会の委員

出展

展示ブースで 起業相談と入居企業のPR

SFC Open Research Forum 2013 11月22・23日 東京ミッドタウン
<http://orf.sfc.keio.ac.jp/>

慶應義塾大学 SFC Open Research Forum 2013は、「創のbazaar」をテーマに、22日、23日の2日間にわたって行われ、SFC-IVでは、ブース展示にも参加しました。ORFは湘南藤沢キャンパス(SFC)の先端的研究の取り組みを一般に公開し、産学官連携の発展を目的として、SFC研究所の主催により毎年秋に開催されており、今年も多くの方をを迎えました。SFC-IVのブースでは、入居企業のパンフレットを展示し、その事業や施設の紹介をしました。また、起業を目指している学生などが起業相談に訪れ、後日、SFC-IVで具体的なアドバイスや相談へ進んだケースもありました。



IMが起業相談承ります